

令和元年度 第2回仙台市都市計画協議会 議事概要

日 時 令和元年 11 月 20 日(水) 14:30~16:00
会 場 T K P ガーデンシティ仙台勾当台 ホール2

議 題 仙台市都市計画マスタープランの策定について
【都市計画を取り巻く動向、都市づくりの視点等】

配付資料 資料1 I 都市計画を取り巻く動向
資料2 II 都市づくりの視点等(案)

【主な意見等】

I 都市計画を取り巻く動向(本市の魅力や強み)について

- ・学生が多いという特徴もあるが、留学生や在留外国人も多いのではないかと。
- ・仙台の魅力として住みやすさがあり、台風19号で発生したような内水への対策対応の視点も必要である。
- ・仙台は支店経済であるが、本社機能をどう持ってくるのかということも課題ではないかと。
- ・公共交通の利用促進のため、モビリティ・マネジメントに取り組んでいるが、その効果がまだ表れていないのではないかと。
- ・交通の利便性については、市民からするとまだまだ不便なところがある。燕沢で行われている社会実験のような、地域住民が中心となった取り組みは、仙台の魅力を高めるという意味で非常に重要な市民活動なのではないかと。
- ・郊外団地への子育て世代の住み替えがみられるところがある。子育て世代に対する施策がもう少し充実すれば、仙台の住みやすさがより明確になるのではないかと。
- ・次世代放射光施設の立地等が都市空間に与える影響として、どのようなことが想定されるのかを記載することで、都市づくりの視点や方向性が見えてくるのではないかと。
- ・自然環境と都市機能の調和の項目に、東部の田園や海の記述も必要なのではないかと。
- ・何かを創造しようとする時に環境はすごく重要。仙台は自然と都市が共存しているところが魅力的であり、ここに暮らしたくなるのではないかと。
- ・東北の中でも様々な特徴を持っているのが仙台であり、少しの移動で様々な魅力に出会うことができる。既にある程度恵まれた状況にあるということを前面に出すことでよいのではないかと。

II 都市づくりの視点等（案）について

- ・生活の基である住まいについて、何かしら示しておくべきではないか。
- ・道路が狭いために建物が建てられない等、インフラが脆弱なところの課題についても、都市マスで扱ってよいのではないか。
- ・都市計画は物的な環境がどうあるべきかということを考えがちだが、空間を自由に使える、楽しく使える、トライアルできるといった視点があってもよいのではないか。
- ・空き地を例にするとわかりやすいが、土地利用というのはどんどん変わっていく。同じ使い方で未来永劫成功させるというよりは、一時的にトライしてみて、失敗したらやり直すという部分があってもよいのではないか。
- ・これまでの都市計画は、一戸建てが並んでいる姿をゴールとしてイメージしていたようなところがあるが、仙台には通勤者が多く、なかなか家を持たない傾向がある等、様々なタイプの人々が暮らしている。そのような、多様性をどのように受け止めていくのかという視点があるとよいのではないか。
- ・日本の都市計画制度は、全般的に機能純化で考えられており、ひとつの空間で色々なことができない。そのようなことができる空間をつくるのも手ではないか。
- ・厳しい財政状況の中でも、官民連携や民間資金の活用による社会資本整備等、民間の力を活用することで、より魅力のあるものができるのではないか。
- ・今住んでいる人たちが、いかに仙台に住み続けたいと思えるかが大切である。
- ・高齢化が進んでいる時代であり、地域によっては医療施設や商業施設がまとまって立地するコンパクトシティの考え方が必要ではないか。
- ・都市空間で歴史性や文化を引き継いでいく、コアになるものを持つというような視点が少し弱いのではないか。
- ・守るべき農地はきっちり守っていくべきで、農地の可能性を生かす必要もある。農地のある暮らしには、都市部とは違った住みやすさがあるのではないか。
- ・土地利用に関しては、地域の活性化につながるように、柔軟性を持てるような部分があってもよいのではないか。
- ・都市づくりの視点を踏まえた方向性の順番については、都市全体の目標で考えると、「杜の都の継承と安全・安心な都市環境の充実」を一番にした方がよいのではないか。
- ・都市づくりの視点の順番については、市民目線からすると「暮らしやすい都市」が一番なのではないか。
- ・「躍動する都市」については、これまで仙台・東北であまり言われたことがない。これを前面に押し出して重点的にやっていくという意味からすれば、「躍動する都市」を一番にした方がよいのではないか。
- ・仙台は暮らしやすく、きれいだが、仕事がないと言われることが多い。そういう意味からすると「躍動する都市」が一番になるのではないか。